

山 岳 遭 難 発 生 状 況

(令和7年1月1日～令和7年8月17日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況（暫定値）（令和6年数値は1月1日からの同期間数値）

区 分	発生件数	死 者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令 和 7 年	234	32	4	113	117	266
令 和 6 年	212	35	1	93	105	234
前 年 同 期 比	22	-3	3	20	12	32

2 山域別発生状況

区 分		件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
北 ア	槍穂高	43	18.4%	8	0	19	22	49
	後立山	69	29.5%	7	1	32	44	84
	その他	39	16.7%	0	0	27	18	45
計		151	64.5%	15	1	78	84	178
中央アルプス		14	6.0%	4	1	5	5	15
南アルプス		5	2.1%	0	1	4	0	5
八ヶ岳連峰		20	8.5%	3	0	12	6	21
その他の山岳		44	18.8%	10	1	14	22	47
計		234		32	4	113	117	266

3 態様別発生状況

区 分	件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
転・滑落	66	28.2%	19	0	49	0	68
転 倒	53	22.6%	1	0	52	0	53
病 気	15	6.4%	3	0	0	12	15
道 迷 い	25	10.7%	0	0	0	40	40
落 石	7	3.0%	0	0	7	0	7
雪 崩	2	0.9%	1	0	1	1	3
落 雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	32	13.7%	1	0	0	35	36
不明・他	34	14.5%	7	4	4	29	44
計	234		32	4	113	117	266

4 男女別・年齢別比率

区 分	男 性					(人) 比率	女 性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
1 9 歳以下	0	0	0	4	4	35 19.6%	0	0	1	0	1	18 20.7%	5	53 19.9%
2 0 代	1	0	3	13	17		0	0	1	5	6		23	
3 0 代	3	1	3	7	14		0	0	3	8	11		25	
4 0 代	4	1	10	10	25	67 37.4%	1	0	11	3	15	36 41.4%	40	103 38.7%
5 0 代	6	0	15	21	42	77	1	0	14	6	21	33	63	110
6 0 代	5	1	19	17	42	43.0%	0	0	14	7	21	37.9%	63	110
7 0 以上	11	1	11	12	35		0	0	8	4	12		47	41.4%
計	30	4	61	84	179		2	0	52	33	87		266	
比 率	67.3%						32.7%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生（8/12～8/17）

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
8月13日	南アルプス 甲斐駒ヶ岳	男	71	負傷	滑落	4人パーティで甲斐駒ヶ岳を登山中、滑落、負傷
8月13日	中央アルプス 中岳	女	69	無事救出	疲労	2人パーティで木曽駒ヶ岳から下山中、疲労により、行動不能
8月13日	北アルプス 白馬岳	男	58	無事救出	疲労	単独で白馬大雪渓を登山中、疲労により、行動不能
						上記遭難現場写真
8月14日	北アルプス 唐松岳	女	71	負傷	滑落	2人パーティで八方尾根を登山中、木道で足を滑らせて滑落、負傷
8月14日	北アルプス 蝶ヶ岳	男	48	無事救出	疲労	2人パーティで常念岳から蝶ヶ岳に向けて縦走中、疲労により、行動不能
8月14日	北アルプス 白馬岳	男	62	無事救出	発病	3人パーティで白馬岳に入山し、付近の山小屋で体調不良により、行動不能
8月15日	北アルプス 白馬岳	女	36	無事救出	発病	7人パーティで白馬岳から下山中、体調不良により、行動不能
8月15日	北アルプス 鳴沢岳	男	63	負傷	転倒	単独で針ノ木岳に向けて縦走中、転倒、負傷
8月15日	北アルプス 赤沢岳	女	81	負傷	転倒	2人パーティで赤沢岳山頂付近を縦走中、転倒、負傷
						上記遭難現場写真
8月16日	北アルプス 槍ヶ岳北鎌尾根	男	46	無事救出	道迷い	単独で槍ヶ岳北鎌尾根を登山中、急峻な沢に迷い込み、行動不能
8月16日	北アルプス 天狗の頭	男	65	負傷	滑落	2人パーティで唐松岳に向けて天狗の頭付近を登山中、滑落、負傷
8月16日	北アルプス 鹿島槍ヶ岳	女	51	死亡	滑落	3人パーティで鹿島槍ヶ岳から五竜岳に向けて登山中、八峰キレット付近で滑落
8月16日	北アルプス 唐松岳	男	28	無事救出	道迷い	単独で唐松岳から五竜岳に向けて登山中、道に迷い行動不能

8月16日	北アルプス 小蓮華山	女	31	無事救出	疲労	2人パーティで白馬岳へ向けて登山中、小蓮華山付近で疲労等により行動不能
8月17日	北アルプス 常念岳	女	57	負傷	転倒	4人パーティで常念乗越に向けて登山中、転倒、負傷。
8月17日	北アルプス 八方尾根	女	57	負傷	滑落	2人パーティで唐松岳から八方尾根を下山中、滑落、負傷
						上記遭難現場写真

山岳安全対策課からのアドバイス

先週は、**16件16人の遭難**が発生し、先週に続いて**1名の方が亡くなっています**。

滑落や転倒による遭難が**8件**、疲労や体調不良による遭難が**6件**発生しています。

いずれの遭難も本格的な登山の対象である標高の高い山域で発生しており、救助活動には、ヘリコプターだけでなく、遭対協、警察、消防など多くの救助隊員が地上部隊として出動し、対応しています。中には日没後、夜遅くまで掛かって救助した事案も数件ありました。

救助要請時の聞き取りでは、救助を待つ間のビバークの可否について確認しても、**装備や飲料、食料が殆どない**方がいた他、救助活動後の聞き取りでは、**普段ほとんど運動習慣がない**など、明らかに体力不足と見られる方もいました。

「自分は遭難しない」「自分には関係がない」そう考えていませんか？

また、「自分も遭難するかもしれない」と自覚があっても具体的な対策を怠ったまま漫然と登山を続けていませんか？

自然の中で行う登山にはリスクがつきものです。また、登山には体力が必要不可欠です。今一度ご自身の登山を見直し、安全登山を心掛けましょう。